



この夏、本気の進路選択の第一歩を踏み出そう

大学学部研究会

オンライン
講義

2023

大学で何を学び、人生をどう生きるのか、そのヒントがここに。
日本を代表する24人の教授陣が各分野の最先端の研究を講義します。

大学学部研究会は、高校生・中学生の皆さん、日本を代表する一流教授陣から、人生を懸けて取り組んでいる研究内容の講義を受けられる貴重な機会です。大学での学びは受験勉強とは異なり、答えのない問い合わせに対して果敢に挑戦していくものです。皆さんが大学で何を学ぶのか、これから的人生をどう生きていくのかを考えるきっかけとしてください。本気の学びとの出会いが、10年後20年後の社会で活躍する原動力となることでしょう。大学学部研究会はオンライン開催で、最新の講義を東進学力POSから受講できます。この夏、本気の進路選びの第一歩を踏み出してください。

学問系統：法・経済・商・社会 人文・語学 理・工学 医・歯・薬

理・工学 情報学・情報知能学 楽しく深い学びを支える「システム」の創造 東京大学大学院 工学系研究科 准教授 吉田 墾 先生	理・工学 物理学・応用物理学 光る・覚える・駆動する、半導体の凄技 東京大学 工学系研究科 物理工学専攻 教授 川崎 雅司 先生	医・歯・薬 病理研究医学 感染症医ってどんな仕事？世界を搖るがすパンデミックにおける役割 大阪大学大学院 医学系研究科 感染制御学 教授 忽那 賢志 先生	法・経済・商・社会 政治学 ウクライナ戦争から考える世界の脅威 慶應義塾大学 総合政策学部 教授 廣瀬 陽子 先生
理・工学 工学・電気電子工学 量子のように生きろ 東北大学大学院 情報科学研究科 情報基礎科学専攻 教授 大関 真之 先生	理・工学 工学・航空宇宙工学 小型宇宙機技術が拓く新しい宇宙開発利用と宇宙ビジネス展望 東北大大学院 工学研究科 航空宇宙工学専攻 准教授 桑原 聰文 先生	理・工学 工学・土木工学 災禍からの復興・再生を通して、2040年の都市デザインを考える 東京工業大学 環境・社会 理工学院 建築学系 準教授 真野 洋介 先生	理・工学 化学・応用化学 ミクロなスケールでの未来物質・材料のものづくり 名古屋大学大学院 工学研究科 物質プロセス工学専攻 教授 山内 悠輔 先生
理・工学 生物学・応用生物学 ケミカルバイオロジー：生命を分子のレベルで理解する 東京大学大学院 工学系研究科 化学生命工学専攻 教授 山東 信介 先生	理・工学 地学・気象学 気候変動の科学—基礎研究と社会貢献を両立する— 東京大学 大気海洋研究所 教授 渡部 雅浩 先生	法・経済・商・社会 環境学・環境社会学 経済学の力で環境問題に取り組む 一橋大学大学院 経済学研究科 准教授 横尾 英史 先生	理・工学 情報学・情報知能学 コンピュータはどこまで賢くなれるのか：機械学習の挑戦 東京大学大学院 新領域創成 科学研究科 複雑理工学専攻 教授 杉山 将 先生
人文・語学 教育学 保育専門職の独自性と重要性～こどもまんなか社会のこれからを考える～ 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 教授 北野 幸子 先生	法・経済・商・社会 経営学 新しい価値をつくる方法：イノベーションの源泉としての文化と歴史 京都大学 経営管理大学院 教授 山内 裕 先生	法・経済・商・社会 社会学 変化する家族とライフコース：家族社会学の研究から 立命館大学 産業社会学部 教授 筒井 淳也 先生	法・経済・商・社会 社会学・メディア学 韓流の社会学：ファンダムから国境を越える文化的連帯を考える 立教大学 异文化 コミュニケーション学部 教授 李 香鎮 先生
法・経済・商・社会 社会学・メディア学 メディア化した社会とは～テレビドラマと社会の関係を事例に 法政大学 社会学部 メディア社会学科 教授 藤田 真文 先生	法・経済・商・社会 社会学・社会福祉学 貧困・生活困窮に「今」求められる支援とは 上智大学 総合人間科学部 社会福祉学科 准教授 鎌木 奈津子 先生	法・経済・商・社会 法学・社会法 AI時代のプライバシー・個人情報保護 中央大学 国際情報学部 教授 石井 夏生利 先生	法・経済・商・社会 法学・公法 比較憲法學から考える表現の自由とヘイト・スピーチ 学習院大学 法学部法学科 教授 村山 健太郎 先生
人文・語学 地理学・文化人類学 地方都市の「伝統文化」をフィールドワークする 東京大学大学院 総合文化研究科 准教授 塚原 伸治 先生	人文・語学 心理学・社会心理学 “観光心理学”って何？ 立教大学 現代心理学部 心理学科 教授 小口 孝司 先生	人文・語学 言語学 統語論とは何か：無意識のうちに獲得している「ことばの知識」 九州大学 人文科学院 言語学講座 教授 上山 あゆみ 先生	人文・語学 文学・日本古典文学 納豆はなぜ食べ続けられてきたのか 筑波大学人文社会系 比較文化学類 国際日本研究専攻 教授 石塚 修 先生

申込締切 ～8月3日(木)まで

受講期間 「大学学部研究ウィーク」8月6日(日)～8月15日(火)

対象 東進生・夏期特別招待講習 受講生 | 高2生・高1生・高0生が対象です。
高0生とは高校レベルの学力を持つ意欲のある中学生

受講数 最大3講座受講できます。

受講料 無料

※申込方法、受講方法は所属校舎にてご案内いたします。

